

国語

小学5年

この本の使い方と特色

- 全体の構成 このテキストは、五年生の一学期までに学んだことがらを、選ばれた素材によって、
合理的かつ総合的に学習できるように編集してあります。
- 単元の構成 一つの単元は、確認問題 → 練成問題の順に構成してあります。また、読解問題は、
詩をのぞいて、一素材ごとに見開き完結になっています。
 - ◆ 確認問題・練成問題……基本的な問題の量、素材と問題の難易度により、確認問題・練成問題
とに分けてあります。また、真の理解力と表現力を養うために、記述問題も配して
あります。

目次

1 物語(1)	2	5 隨筆	18
2 物語(2)	6	6 説明文	22
3 伝記・脚本	10	7 漢字・語句・ことばのきまり(1)	26
4 詩	14	8 漢字・語句・ことばのきまり(2)	30

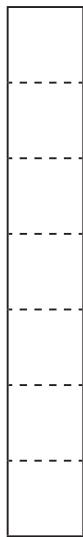
- 次の文章を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

物語(1)

確認問題



1



から

- (1) — 線①「おれは目が弱つてきたらしい」とあります。が、ブルブルの目はどうして「弱つてきた」のですか。その理由を、「から」に続く形で、本文中から七字で書きぬいて答えなさい。

〈舟崎克彦「王さまブルブル」より〉

- (5) — 線⑤「このちっぽけなしあわせ」とあります。が、「ブルブル」が①以前に感じていた「しあわせ」と、②ここでいう「しあわせ」の内容として最もふさわしいものを次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- エ 親しみぶかくてやさしい王様。
イ 料理を作るのが上手な王様。
ウ 頭がよくてみんなを引っ張っていく王様。

- (4) — 線④「ほんとうの王さま」とあります。「みんな」はどんな王様が「ほんとうの王さま」としてふさわしいと考えているのですか。次から最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

- ア だれよりも強くて、おぞろしい王様。
イ ウ エ

- (2) — 線②「自分の顔がうつっている」とあります。が、それはどんな顔だと考えられますか。次から最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。
ア がっかりした顔。 イ するそうな顔。
ウ おそろしい顔。 エ おだやかな顔。

練成問題

- 次の文章を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

ウ ハナタマちゃんのねこのせいで、どうしてぼくがしかられなくちゃならないの？

エ ここはぐつとがまんして、ぼくがねこの鳴き声を出したことにしておかなくちゃ。

□(1) 線①「ちょっとした事件が起きた」とあります、「事件」の時の場面が書かれているのは、この後からどこまでですか。その終わりの七字（も字数に數えます）を書きぬいて答えなさい。

□(2) 線②「そんな声を出したのは、月野君に決まっていると思った」とありますが、みんながこのように思ったのはなぜですか。その理由を、「月野君は、から」という形で、書いて答えなさい。

□(3) 線③「月野君は、ちょっと顔を赤くして、頭をかいだ」とあります
が、この時の月野君の気持ちとして最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 授業中にちょっとふざけすぎちゃったかなあ。これからは気をつけなくちゃ。

イ ものまねがまさかこんなに受けるとは思わなかつたなあ。よかつた、よかつた。

□(4) 線④「どうしたらしいかしら」とありますが、結局、ハナタマちゃんは、どうすることにしましたか。「ハナタマちゃんは、こと」とした。という形で、書いて答えなさい。

□(5) 線⑤「そのとき」とは、どんなときですか。「とき」という形で、書いて答えなさい。

□(6) 線⑥「ぼくも、その話を聞いて、月野君って、なかなかたいしたやつだなあ、と感心しちまった」とありますが、「ぼく」は、月野君の特にどんなところに感心したのですか。次から最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア 動物を愛する、やさしくてあたたかい心を持っているところ。
イ ハナタマちゃんが先生にしかられないよう、かばつたところ。

ウ 先生にどなりつけられても、平氣で、こわがらなかつたところ。
エ こまつっていたハナタマちゃんに、いい方法を教えてあげたところ。